

被害防止対策の第一歩は相手を知ることから ～主な野生獣の生態～

ニホンジカ



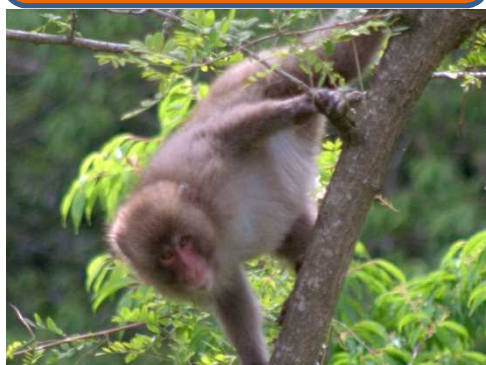
- ◎群れで行動するが、オスとメスは別の群れ。
- ◎5～6月に1頭の子供を出産。
自然では、個体数が1年で28%増加。
- ◎助走せずに、150cm以上の跳躍力。
しかし、防護柵は飛び越えるより、下の隙間をくぐり抜けることが多い。
- ◎1,000種を超える植物の葉、芽、樹皮、果実などを食べ、1日あたり約3kg食べる。

イノシシ



- ◎オスは単独、メスは子と群れで行動。
- ◎4～6月に4～5頭の子供を出産。
- ◎100cm以上の跳躍力。
20cmの隙間があれば、潜り抜け可能。
- ◎鼻の力で、約70kgの重さを持ち上げ可能。
- ◎昼行性だが、警戒心が非常に強いため、日没から夜明けにかけて活発に行動。
- ◎雑食性(植物、昆虫、ミミズなど)

ニホンザル



- ◎群れは10～100頭程度。
およそ100頭を超えると分裂する場合が多い。
- ◎群れを指揮するボスザルはいない。
オスは4～5歳で生まれた群れを離れる。
- ◎1年おきに、1頭出産する。
栄養状態が向上すると出産率が向上。
- ◎垂直方向、水平方向に、およそ2m跳べる。
- ◎植物が中心で、その他昆虫を食べる。